



10月うぶやま天文台星空情報②

部分月食を見よう

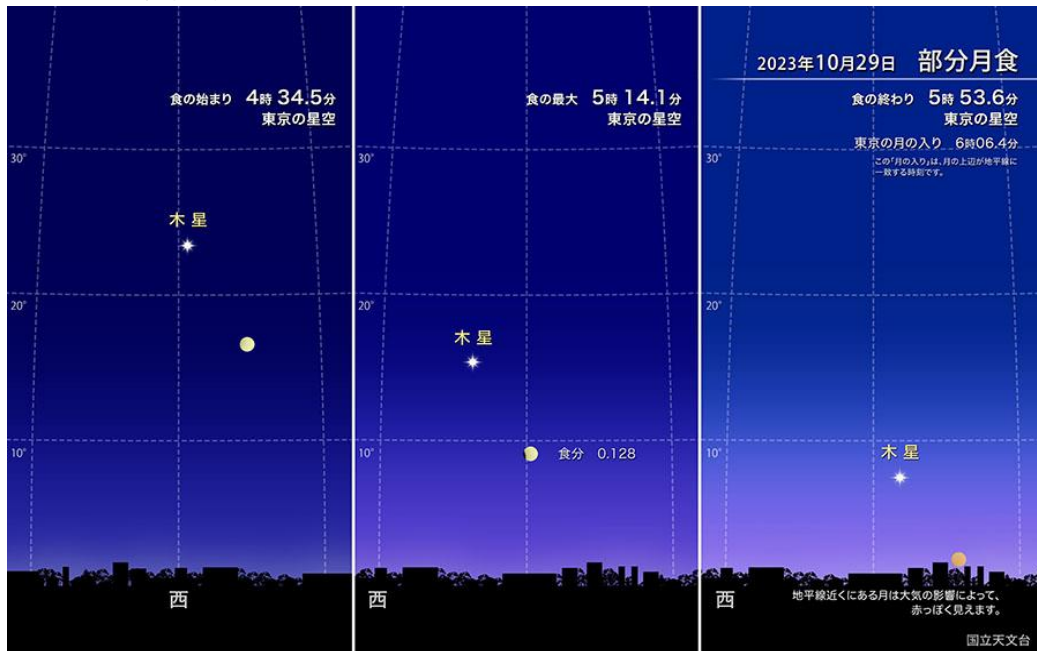


10月のうぶやま天文台の星空情報の第2弾は、10月29日に全国的に見られる部分月食の情報です。10月29日の明け方に部分月食が起こり、部分食の始まりから終わりまでほぼ日本全国で見ることができます。

月食は、月が地球の影に入ることによって起こります。地球の影（本影）によって隠される「皆既月食」と、一部が隠される「部分月食」があります。今回起こるのは部分月食です。部分月食が始まる（月が欠け始める）のは午前4時34分です。それから月は徐々に地球の影に入り込み、5時14分に月が最も欠けます（食の最大）。その後、月は徐々に地球の影から抜け出し、5時53分に部分月食が終わります。部分食が終わって間もなく月の入りとなります。特に部分食の終わり頃には月の高度がとても低くなりますので、西の空が開けた場所で観察するのが良いでしょう。

また、今回の部分食では月の直径の12.8%までしか地球の影に入り込みません。あまり大きく欠けないうちに月食が終わります。早朝のため観察会は行いませんが、天文台の業務として部分月食の経過を記録するため、天文台は開いています。

全国で起こる部分月食



うぶやま天文台での部分月食予報

部分食の始まり(高度)	食の最大(0.128)	部分食の終わり	月の入り
4時34.5分(24度)	5時14.1分(16.1度)	5時53.6分(8.3度)	6時43.3分